

アレルギー支援ネットワーク

Social Return on Investment - The Impact Map

Stage 1	Stage 2		Stage 3										Stage 4					Stage 5							
ステークホルダー	期待していた変化	インプット	アウトプット	アウトカム(何が変わったか)										死荷重	置換効果	帰属性	ドロップオフ	インパクト	ソーシャルリターンの計算						
		彼らが投入するもの	価値(金額)	活動の要約(数値で)	状況説明	指標(インジケータ)	情報源	量	持続	財務プロキシ	変化の価値	情報源	この活動がなくても起きた変化を差し引く	同じ効果の別の活動の影響	自分達以外の「おかげ」がどれくらいか	効果は毎年何パーセント薄れていくか	インパクト	ディスカウントレート	0.05%	Year 1 (after activity)	Year 2	Year 3	Year 4	Year 5	
アレルギー大学受講生(患者の家族)	アレルギーに関する正しい知識を得たり、ネットワークを持つことで悩みが解消され、安心して子育てができる。	アレルギー大学受講料(アレルギー支援NWのインプットに含める)		2007年から2014年までの8年間に、236名の患者の親がアレルギー大学を受講した。	アレルギー大学で学んで家庭で実践に活かすことにより、病院での治療を要する事故が、年間1回減少。通院するほどではない事故は年間2回減少。	アレルギー事故の発生回数の減少	親の会およびアレルギー大学受講者へのアンケート調査(ウェブと対面式のアンケートを併用)	236	1	・通院した場合:1回あたりの治療費の合計額が20,000円 ・通院しなかった場合は、母親のパート代800円×2時間	¥23,200	・医療費は、診療報酬(厚労省) ・パート代は、愛知県内の平均的なパート代	8.3%	83.8%	50%	10%	¥406,681	¥406,681	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
				2007年から2014年までの8年間に、236名の患者の親がアレルギー大学を受講した。	アレルギー大学で学ぶことにより、対応食づくりにかける時間が1日0.5時間減少。食費が月間500円減少。	アレルギー事故の予防にかかる時間と費用の減少	親の会およびアレルギー大学受講者へのアンケート調査(ウェブと対面式のアンケートを併用)	236	1	・母親のパート代時給800円 ・食費にかかる金額が月500円減少	¥152,000	・医療費は、診療報酬(厚労省)	8.3%	83.8%	50%	10%	¥2,664,465	¥2,664,465	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
				2007年から2014年までの8年間に、236名の患者の親がアレルギー大学を受講した。	アレルギー大学で学ぶことにより、患者の通院の頻度が年間9.6回減少。	医療費の減少	親の会およびアレルギー大学受講者へのアンケート調査(ウェブと対面式のアンケートを併用)	236	1	小児外来医療費1回:3800円	¥36,480	・医療費は、診療報酬(厚労省)	8.3%	83.8%	50%	10%	¥639,471	¥639,471	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
アレルギー大学受講生(専門職、2669名)	アレルギー患者に関わる専門職を対象に、食物アレルギーの基礎知識や食物アレルギー対応の給食にも適切に対応できる調理方法を習得させ、職場で活用する。(専門職とは、栄養士、調理師、保健師、保育士、教員、保健師、看護師、外食産業の企業人、食品産業の企業人、医師、研究者などを指す。)	受講料は、アレルギー大学の事業収入にふくめる。受講生が、患者に指導した時間と、同僚に学んだことを伝える時間は、置換効果で割り引くこととし、インプットには含めない。		2007年から2014年までの8年間に、2669名の専門職がアレルギー大学を受講した。	アレルギー大学で得た知識を使って患者を指導することにより、4,109名の患者のアウトカムが向上した。	指導した患者のアレルギー事故の発生回数の減少 ・事故の予防にかかる時間の減少 ・医療費の減少	受講者アンケートと、常務理事ヒアリング			指導した患者にとってのアウトカムに記載	指導した患者にとってのアウトカムに記載														
				2007年から2014年までの8年間に、2669名の専門職がアレルギー大学を受講した。	アレルギー大学で得た知識を職場の同僚に伝えることにより、8,260名の行動変化を促し、職場が変化した。	知識を伝えることにより行動変化がおきた同僚の数	受講者アンケートと、常務理事ヒアリング			同僚にとってのアウトカムに記載	同僚にとってのアウトカムに記載														
専門職がかかわったアレルギー患者				アレルギー大学を受講した専門職の7割が、ひとり当たり年間5人の患者に指導を行った。2007年から2014年の8年間は、12,328名の患者が指導を受けた。	専門職の指導を受けたアレルギー患者の1/3において、アレルギー事故の発生が減少した。	アレルギー事故の発生回数の減少	受講者アンケートと、常務理事ヒアリング	4109	1	・通院した場合:1回あたりの治療費の合計額が20,000円 ・通院しなかった場合は、母親のパート代800円×2時間	¥23,200	・医療費は、診療報酬(厚労省) ・パート代は、愛知県内の平均的なパート代	8.3%	83.8%	50%	10%	¥7,080,737	¥7,080,737	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
				アレルギー大学を受講した専門職の7割が、ひとり当たり年間5人の患者に指導を行った。2007年から2014年の8年間は、12,328名の患者が指導を受けた。	専門職の指導を受けたアレルギー患者の1/3において、アレルギー事故の予防にかかる時間が減少した。	アレルギー事故の予防にかかる時間と費用の減少	受講者アンケートと、常務理事ヒアリング	4109	1	・母親のパート代時給800円 ・食費にかかる金額が月500円減少	¥152,000	・医療費は、診療報酬(厚労省)	8.3%	83.8%	50%	10%	¥46,391,037	¥46,391,037	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
				アレルギー大学を受講した専門職の7割が、ひとり当たり年間5人の患者に指導を行った。2007年から2014年の8年間は、12,328名の患者が指導を受けた。	専門職の指導を受けたアレルギー患者の1/3において、患者の医療費が減少した。	医療費の減少	受講者アンケートと、常務理事ヒアリング	4109	1	小児外来医療費1回:3800円	¥36,480	・医療費は、診療報酬(厚労省)	8.3%	83.8%	50%	10%	¥11,133,849	¥11,133,849	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
専門職が影響を与えた周りの専門職				アレルギー大学を受講した専門職の7割が、ひとり当たり7.5人の同僚に知識を伝えた。2007年から2014年の8年間は、11,210名の専門職が、知識を伝えられた。	アレルギー大学を受講した専門職が同僚に知識を伝えることにより行動変化が起き、職場が変わった	専門職の14/19が、職場に変化が起きたと回答		8,260	1	アレルギー大学受講料(初級コース程度)	¥22,000	アレルギー支援ネットワークより	8.3%	83.8%	47%	10%	¥14,307,473	¥14,307,473	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0		
アレルギー支援ネットワーク	アレルギー大学の自立的運営と中間支援機能の発揮	アレルギー大学事業支出																							
東海ろうきん	アレルギー大学のスタートアップ	2006年:100万円 2007年:100万円	「置換効果」に含める																						
パナソニック(資金提供者)	アレルギー支援NWに助成することにより、同団体の組織基盤が強化され、社会的成果が生まれる	2007年:150万円 2008年:100万円 2009年:100万円	¥3,500,000																						
				助成事務局のアドバイスを報告会等による他団体からの学び																					
Total			¥3,500,000																						
																		Present value of each year (after discounting)	¥82,582,423	¥0	¥0	¥0	¥0		
																		Total Present Value (PV)	¥82,582,423						
																		Net Present Value (PV minus the investment)	¥79,082,423						
																		Social Return Y per Y	¥23.59						